

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名 一般国道272号 阿歴内道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北海道開発局	
起終点 自：北海道川上郡標茶町東阿歴内 至：北海道川上郡標茶町北片無去	延長		5.4 km
事業概要 ：一般国道272号は、釧路・根室圏の中核都市である釧路都市圏と、日常生活の中心都市である中標津町を經由し、標津町に至る延長約100kmの主要幹線道路であり、釧路根室圏の形成上重要な路線である。阿歴内道路は、冬期の視程障害、線形不良、通行止めの頻発といった道路交通上の課題を解消し、安全・安心な交通の確保と物流の効率化の支援を目的として計画された釧路中標津道路の一部を形成する延長5.4kmの地域高規格道路である。			
H16年度計画路線指定 H11年度整備区間指定 H12年度着工準備			
全体事業費 約32億円 事業進捗率 6% 供用済延長 — km			
計画交通量 7,000台/日			
費用対効果分析結果 B/C(事業全体) 2.5 (残事業) 2.5		総費用 (残事業)/ (事業全体) 27/27億円 事業費 27/27億円 維持管理費 0/0億円	
		総便益 (残事業)/ (事業全体) 68/68億円 走行時間短縮便益 43/43億円 走行経費減少便益 18/18億円 交通事故減少便益 6/6億円	
基準年 平成16年			
感度分析の結果 ：事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.7(交通量+10%) B/C=2.3(交通量-10%) 事業費変動：B/C=2.3(事業費+10%) B/C=2.8(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=2.5(事業期間+20%) B/C=2.6(事業期間-20%)			
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保(年間渋滞損失時間の削減が期待される) ・国土・地域ネットワークの構築(日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる) ・物流効率化の支援(農林水産の流通の利便性向上が見込まれる) 他10項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 釧路市を始めとする関係1市8町1村の首長で構成される北海道釧路地方総合開発促進期成会及び根室市を始めとする関係4市15町1村の首長で構成される釧路根室トライアングル整備構想連絡会議より、毎年事業促進の要望を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成16年度に地域高規格道路(釧路中標津道路)の内、春別道路L=13.1kmが供用開始となっています。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成16年度末現在で設計進捗率30%、測量・地質調査進捗率30%、事業進捗率は6%となっています。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成12年度から着工準備の計画・調査を進めており、今後は早期の事業化を目指す。			
施設の構造や工法の変更等 耐候性鋼材の採用によるライフサイクルコストの縮減や、構造規格の見直し等の設計手法見直し(構造規格の見直し等)、新技術の活用(耐候性鋼材)等により、コスト縮減を図っている。			
対応方針 ：事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。(バックデータ等についてはインターネットで公開)